

YZ450F / YZ250F

Power Tuner Setting Manual

パワーチューナーセッティングマニュアル

■ Power Tuner

FI は、エンジン温（冷却水温度）、外気温、大気圧など刻々と変化する状況に対し、スロットル開度、吸気温、冷却水温、大気圧力、吸気圧力などの各センサーから情報を収集し、これをもとに適切な噴射量を演算して燃料噴射を行います。

これを支えるのが「燃料噴射量マップ」と「進角特性（点火時期）マップ」ですが、「Power Tuner」は、この2つの三次元マップを操作することにより、「低中速を濃くしてトルクが欲しい」、「点火時期を早めレスポンスを高めたい」といった好みや、コース状況に合わせて詳細なセッティングを行うことができます。なお、作成したデータは、オリジナルマップとして最大9種まで保存でき、マシンのカブラーに「Power Tuner」を接続してデータを送信すればセッティングは完了します。

■ 路面状況別 推奨マップ

	YZ450F	YZ250F
Muddy マディ		
マディーコンディションは滑りやすいため、低中速でのスロットルの開けやすさをポイントとしたセッティングを行い、幅広いライダーが YZ のトラクションを有効に活用できるようにしました。	FI	IG
	0 0 0	0 -2 -2
	0 +2 +2	-3 -3 -4
	0 +1 +1	-2 -2 -3
	FI	IG
	-1 -1 -1	-3 -4 -4
	-1 -2 -2	-3 -3 -4
	-3 -3 -2	-3 -3 -4
Hard Pack ハードバック		
硬い土質では、いかに効果的にトラクションを確保するかが鍵となるため、加速や旋回時にトラクションが得られるセッティングとし、素早くかつ滑らかにコーナーをトレースできる走りを可能にしました。	FI	IG
	0 0 0	-2 -1 -1
	0 0 0	-2 -3 -2
	0 0 0	-2 -2 -2
	FI	IG
	+1 +2 +1	-4 -4 -4
	+1 +2 +2	-4 -5 -5
	+2 +2 +2	-4 -4 -4
Sand サンド		
サンドはトラクションが得にくくパワーを食われるため、リニアなレスポンスを狙ったセッティングとし、エンジン回転の素早い上昇を確実に得られ、よりアグレッシブな走りを実現しました。	FI	IG
	-2 -1 -1	+1 +1 +1
	-2 -1 -1	+2 +2 +1
	-2 -2 -2	+2 +2 +2
	FI	IG
	-3 -3 -1	+2 +2 0
	-2 -3 -3	+2 +2 +2
	-1 -2 -3	+2 +2 +2

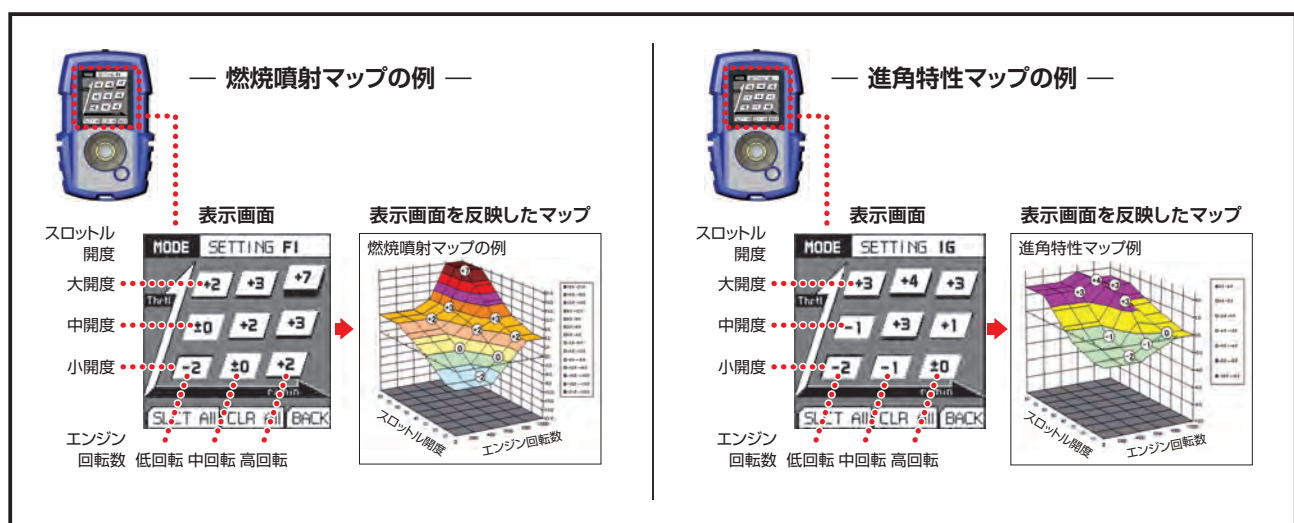
YZ450F / YZ250F

Power Tuner Setting Manual

パワーチューナーセッティングマニュアル

■ マップ調整

「燃料噴射量」と「進角特性」ともに、スロットル開度 3 ポイント（縦軸）、エンジン回転数 3 ポイント（横軸）とし、この組み合わせで 3×3 の 9 ポイント、マップは 2 つあるため合計 18 ポイントで調節が可能です。燃料噴射（FI）の調整幅は、9 点の各ポイントを基準値（0）に対し－7 から＋7 まで 15 段階。進角特性（IG）の調整幅は、9 点の各ポイントを基準値（0）に対し－9 から＋4 まで 14 段階。



■ 自然条件とセッティングの方向性

FI システムは、外気温等の環境変化に対しセッティングを自動調整しますが、外気温が非常に高い（低い）場合や、標高が高い場所などでパワー感が通常と異なると感じた場合は、燃料噴射量を調整してください。

気温	湿度	気圧(標高)	混合気	セッティングの方向性
高い	高い	低い(高い)	濃くなる	薄くする
低い	低い	高い(低い)	薄くなる	濃くする

ポイント

混合気の濃い薄いは、空気の密度（酸素濃度）に左右されます。

- 気温が高いと空気は膨張して密度が減少する。
- 湿度が高いと空気中の水蒸気分だけ酸素濃度が減少する。
- 気圧が低い（標高が高い）と空気密度が減少する。